

## 第24期 第12回 常任理事会議事録

日時 昭和63年12月14日(月) 13:30~17:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 関口, 中村, 荒川, 村上, 重原, 能登,  
山川, 浅井, 竹内, 河村

## 議題

## A. 報告事項

1. 第24期第11回常任理事会議事録の確認について  
一部修正のうえ確認された。
2. 各委員会報告

## 〔庶務〕

資料にもとづき報告があった。主なものは次のとおり。

- (1) 「第24回衛生工学研究討論会」の案内
- (2) 「第3回水資源に関するシンポジウム委員会(最終委員会)開催」の案内。(重原理事に理事長代理として出席依頼)

## 〔会計〕

資料にもとづき11月分の収支状況について報告があった。

## 〔天気〕

天気1月号および2月号の予定内容が示された。新しいシリーズ「研究機関めぐり」が始まる。また、天気についてのアンケートを会員からとることを考えている。

## 〔集誌〕

気象集誌の新方式による印刷を今までは4月号(第2号)から予定していたが、今少し慎重に調査検討を行い、仕様書を作成して6月号(第3号)から新方式による印刷を予定している。また、集誌の紙質を変更することを検討している。

## 〔気象研究ノート〕

12月下旬に第160号が刊行され順調に進んでいる。会員が気象研究ノートにどのようなものを希望しているか、アンケート調査を考えている。執筆者とのかねあひもあるが、アンケート結果にもとづき、ノートの内容を改革していきたい。

## 〔講演企画〕

昭和63年度日本気象学会秋季大会の期日および会場が決定した。

期日：昭和63年10月26日(水)~28日(金)

会場：宮城県民会館(仙台市国分町三丁目3番7号)

## 〔教育と普及〕

12月3日に委員会を開催し、本年の夏季大学の反省会をかねて来年の夏季大学について検討を行った。テーマとして「気候問題」を取り上げようということであったが結論は得なかった。

新シリーズ「気象談話室」を「天気」2月号から掲載する。

## 〔学会会議〕

日本学会議の会員候補者および同推薦人を選ぶための委員会のメンバーが理事長から指名された。

選考委員長 関口理事長代理

選考委員 浅井, 竹内, 松野, 荒川各常任理事

## 〔その他〕

著作権の集中的処理機構に関する講習会に出席した村上理事から「複写に関する集中的処理機構について」および「学協会から見た著作権について」の2件について資料にもとづき報告があった。

## B. 審議事項

1. 会員の新規加入について

個人会員前田秀樹ほか8名の新規加入が承認された。

2. 昭和63年度予算案及び事業計画案について

引き続き最終案が決定するまで継続審議としていくことが了承された。

3. 各賞の賞金額について

中村理事から資料にもとづいて説明があり、検討の結果、次のことが承認された。

- (1) 学会賞, 藤原賞, 山本賞, 奨励金の各賞の賞金額及びその他の諸費用の総枠は各基金の果実の総計の中に収まるようにする。但し、堀内基金奨励賞は別枠とする。
- (2) 将来の物価上昇に備え、各基金の果実の残余金は基金にくり入れる。
- (3) 奨励金は現行の7万円に旅費(往復の実費)を加算する。(希望者のみ)但し、宿泊費は含まない。

(4) 堀内基金奨励賞の賞金額は10万円とする。残額については検討する。

4. 評議員会の開催について

昭和63年1月18日(月)18:00~20:00まで竹橋会館において開催することが承認された。

案内状は評議員、名誉会員、学会協議会員および全理事、監事に出すことが了承された。また、あわせて海洋気象部長、気象大学校長を招待することが了承された。

5. 国際学術交流基金の募金活動の実施について

募金活動を検討する国際学術交流基金募金推進小委員会のメンバーが次のとおり承認された。

岡村、立平、新田(尚)、浅田、二宮の5会員及び山元理事長、関口、竹内、浅井、松野各常任理事

6. 事務局体制の強化について

常勤の事務局長(仮称)をおき次の業務を行う。

- (1) 総括事務
- (2) 外国会員および外国との連絡
- (3) パソコンを軌道にのせる指揮

常勤のアルバイトを雇い雑誌発送作業、パソコンによる会員名簿管理その他のルーチン業務を担当してもらう方向で検討する。

## 気象研究ノート 第160号

——炭酸ガ斯特集—— (1987年12月)

田中正之 中澤高清 青木周司 金森 悟 金森暢子  
古田島久哉 蒲生俊敬 堤 眞 酒井 均 中村俊夫  
中井信之 北野 康 及川武久 伏見克彦 池上 尚  
松野太郎

### 目 次

1. 二酸化炭素の計測の手法と結果
2. 同位体を含む二酸化炭素の測定とその意味
3. 二酸化炭素のグローバル循環とモデリング
4. 生物圏の役割
5. 海洋と二酸化炭素の関係
6. 二酸化炭素の気候に与える影響

### 配布価格

通常会員 2,250円 定期購読会員 1,645円  
団体会員 2,855円 会員外 3,200円